

学習過程のポイントを押さえた授業案作成

南会津の課題 学習過程のポイントを十分に押さえていない授業案が見られた…。



学習過程のポイントを押さえた授業案を作成し、授業に生かしましょう！

◎ 本時のねらい

……の……仕方を、……することができる。(思判表)

Point<ねらいを明確にする>

※本時のねらいが達成された具体的な子供の姿が言えるようにしましょう。
(魅力あふれる授業づくり資料①参照)

Point<指導上の留意点の書き方> ※「～させる」では主体的な学びを引き出せない。

※各段階で留意点を以下のように記載する。指導者の動きや心構えを書く必要はない。

- ①「～について(学習内容)、～することにより(具体的手立て)、～ようにする(目指す姿)。」
 - ②「～には、～することにより(具体的手立て)、～するようにする(目指す姿)。」
- のように、手立てと目指す姿が記述できると授業イメージがより明確になっていきます。

	◎ 学習過程	学習活動・内容	○指導上の留意点	●評価 (例)
課題把握	1	本時の学習課題(めあて、課題)をとらえる。 問 1パック10こ入りのたまごを6パック買いました。このたまごを1人に20こずつ分けます。たまごは何人に分けられますか。 式 $10 \times 6 = 60$ $60 \div 20 = \square$	○ 学習課題(めあて、課題)について、日常生活に関わりのある具体物を提示することにより、子供が課題に対して追究したいという意欲を持たせるようにする。 Point<「問い」や「思い・願い」を引き出すために> ※ いつも・今までもやっていたからなど、あたり前を見直しましょう。ねらいの達成に向けて必要かどうかを考えて設定しましょう。(魅力あふれる授業づくり資料②参照)	
		めあて 60÷20はどのようにすれば答えを求めることができるのだろうか？ ・図にして求める。 ・計算で求める。 ・たまごパックを使って考えると……。	Point<よい学習課題(めあて・課題)の条件> ※ 子供が『自分ごと』として捉えることができる課題にしましょう。(魅力あふれる授業づくり資料②参照)	
課題解決	2	課題を解決する。(自力解決) ・半具体物を使って ・図に表して ・たまご1パック(10)を1つと考える	Point<予想される子供の反応と発問の吟味> ※ 子供の反応をできる限り予想しましょう。 ※ 本時のねらいに近づく子供の反応を引き出すための発問の吟味は大変重要です。本時における発問を精選し、特に大切にしたい発問を中心発問として明記しておくこともぜひ行いましょう。	
	3	全体で話し合う。 (問題の答え) ・答えは 3人。 (解決の方法) ・たまご1パック(10こ)を1とすれば $6 \div 2$ で考えられる。 ・ $60 \div 20 = 3$ と $6 \div 2 = 3$ で答えは同じになる。	Point<見通しの持たせ方> ※ 見通しには答えを予想させたり、仮説を立てさせたりする「結果の見通し」と、これまでの学習で使えることは何か、どのような順序で行うかなどを考えさせる「方法の見通し」があるので、使い分けましょう。 Point<指導と評価の一体化> ※ ねらいが達成されているかを把握できるようにしましょう。 ※ 評価するために、本時の学習内容を記しておきましょう。キーワードとして学習の振り返りに活用を図ることもできます。 ※ 「知識・技能」を評価するならば計算練習等、「思考・判断・表現」の評価であれば説明する活動等と工夫しましょう。 ※ ねらいの達成に不十分な子供に対する手立てと上位の子供をさらに伸ばすための準備をしておきましょう。	● 10のまとまりに着目して計算するよさに気づいて説明している。(発表・ノート)
まとめ・振り返り	4	まとめ・振り返りをする。 10を1つのまとまりとすれば、 $60 \div 20$ は $6 \div 2$ と同じように考えることができる。 ・適用問題を行う。 $90 \div 30$ ……	Point<まとめ> ※ 「何を学習したか」を全員がアウトプットし、学んだことを確認してからまとめていきましょう。 Point<振り返り> ※ 「どのように学習してきたか」を振り返りましょう。(魅力あふれる授業づくり資料③参照)	
	5	次時の学習について話し合う。 ・一の位が……だったら？	Point<新たな学びへ> ※ 次の学習の見通しをもたせたり、生活とのつながりを考えさせたりしましょう。 発問例「生活の中で、今日の学習内容と関係することはありますか。」 「今日学んだことは、生活のどこかで使えないでしょうか。」 「次は何をしてみたい/考えてみたい	

実際の授業案については各学校の形式で作成されて結構です。授業の主役は子供たちです。授業案は「教師と子供が創る授業の台本」です。台本がすばらしければ、きっとすばらしい授業となるはず。本番の授業では子供たちとのアドリブを愉しんでください。参考資料：ふくしまの「授業スタンダード」・南会津「自ら学ぶ子供の育成」リーフレット